

中国研究集刊

湯浅邦弘教授退休記念号（第六十九号）

二〇二三年三月

献呈の辞

湯浅邦弘教授退休記念号編集委員会

湯浅邦弘教授 略歴 研究業績

湯浅邦弘

(2)

〈記念論文〉 大阪市公会堂壁記の成立—近代文人の相互研鑽について—

湯浅邦弘

(17)

八股文における「聖賢に代わりて立言す」

滝野邦雄

(41)

西村天囚『懷徳堂資料』の成立事情と『奠陰集』

竹田健二

(53)

瀧川資言と西村天囚—西村家資料を用いた一考察—

池田光子

(71)

『論語逢原』雍也篇「伯牛有疾」章における伯牛の病臥位置について

杉山一也

(89)

江戸時代の『莊子』研究の評価—中井履軒撰『莊子雕題』を題材に—

藤居岳人

(101)

浅見綱斎『楚辞師説』初探

矢羽野隆男

(119)

中国学的手法による空海研究

南昌宏

(139)

中井履軒『通語』諸注釈書小考—その特色と漢文教材としての可能性について—

久米裕子

(159)

懷徳堂学派の『論語』首章解釈—「時に之れを習ふ」の理解—

黒田秀教

(181)

懷徳堂学派の「敬」論—「敬」の無対象性について—

佐藤由隆

(193)

清華簡『心是謂中』の文献的特質について

中村未来

(207)

清華簡『五紀』の身体観—第一八部分を中心に—

六車楓

(219)

安大簡『詩経』と『説文解字』引詩の文字比較研究

曹方向（草野友子訳）

(241)

西周の三川と河南の三川と

井上了

(253)

術数からみた『孫子』とその受容に関する一考察

椛島雅弘

(267)

清代音韻学における今音学の位置付け—顧炎武・江永・戴震を中心に—

鳥羽加寿也

(283)

台湾料理の位置づけに関する一考察

前川正名

(297)